

編 集 後 記

本号に記載された治療委員会報告の学研病型分類および経過判定基準の改訂については委員会の苦悩のあとがありありとうかがわれ、御苦勞様という感じであつた。学研分類は実によくできた肺結核の分類で肺結核の病理とよく合わせた X 線分類と経過判定基準であつた。SM・INH・PAS 三者療法の時代にはよく経過判定も合つていたが、Rifampicin が登場するに及び、結核の治療は一挙に変化したので、この経過判定基準の見直しの必要が生じた。米国では結核菌培養が陽性か陰性かのみで X 線所見は一切不用としてしまつた。結核は勿論、伝染病であるから結核菌の有無は最も重要なことであるが、結核菌培養陰性の肺結核もしばしば見られる。一方、肺結核を Rifampicin を含む治療を行なつて菌が陰性になれば、空洞があつて大きな浸潤が残つても患者を退院させるのが常識となり、また実際治療を中止しても浸潤や空洞はどんどん良くなつてゆくという報告もあり、われわれ結核の専門家もどの時期で治療を止めてよいか、どこで患者を退院させてよいか判断に苦しむ場合も少なくない。Rifampicin の登場により患者の入院期間、投薬の期間はできるだけ短くしようとするのが現在の治療の流れであろうが、具体的には何カ月入院、何カ月治療というのはまだ決まつていないのが現状である。いずれにせよ菌の消長が最も重要な役割を占めることは疑いを入れないところであり、胸部 X 線の分類はあまり細かな分類でなく、大まかな分類でよいことになる。

泉氏のサルコイドーシスの総説も見ごたえのあるものであつた。長年サルコイドーシスを手がけられた氏がサルコイドーシスの最近の免疫学的進歩と血清 angiotensin converting enzyme (ACE) の発見について書かれているがサルコイドーシスにおいて ACE が高値を示すというのは最近の発見でサルコイドにはほぼ特有の変化で肺の代謝からみても非常に興味深いものである。

次の総説の結核のサーベイランス (Ⅲ) も非常に重要な問題を含む総説であつた。BCG 接種の回数が減少したのでその影響がどう出るか、また結核患者の発生治療はいかに変化してゆくかということは、国としての実際の施策面にも重要な影響を及ぼすので今後持続して研究してゆかなければならない問題であろう。

(今野 淳)

ERRATA

KEKKAKU Vol. 53, No. 7, July 1978

S. A. Popal: The treatment completion rate in tuberculosis cases confirmed bacteriologically and treated at the Tuberculosis Centre, Kabul.

page 386, lines 16-17:

$$\text{"Therefore, when } REG_0 = 2 \times \frac{(T - T')}{C} \text{ IMPACT} = 0.\text{"}$$

should read

$$\text{"Therefore, when } REG_0 \geq 2 \times \frac{(T - T')}{C} \text{ IMPACT} \geq 0.\text{"}$$

page 386, line 20:

"Therefore, when $REG = 0.31$, $IMPACT = 0$, namely....."

should read

"Therefore, when $REG < 0.31$, $IMPACT < 0$, namely....."

結 核 第 53 卷 第 9 号 (9 月号) 毎月 1 回 15 日 発行

昭和 53 年 9 月 10 日 印刷

定 価 700 円 (千 共)

昭和 53 年 9 月 15 日 発行

(振替) 東京 4-53756

編 集 兼 五 味 二 郎 155 東 京 都 世 田 谷 区 代 田 2-3-15

発 行 所 日 本 結 核 病 学 会 180-04 東 京 都 清 瀬 市 松 山 3-1-24
結 核 予 防 会 結 核 研 究 所 内 電 話 (0424) 91-2540

(ただし、原稿については「101 東京都千代田区三崎町 1-3-12, 結核予防会内「結核」編集係 (電話 (03) 292-9211 (内線) 59 番)」にお願いします。)

THE JAPANESE SOCIETY FOR TUBERCULOSIS

c/o Research Institute of Tuberculosis, Japan Anti-Tuberculosis Association,
3-1-24, Matsuyama, Kiyose-shi, Tokyo 180-04 Japan